

東北大学 まなび情報誌

TAKE FREE

2017.2 月号

学ぶひととき、
学ぶひとたち
を応援します。

まなぶひと

特集：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

東北大学関連イベント・インフォメーション

まなぶひと

2 2017
月号
Vol. 005

■ごあいさつ

—東北大学 まなび情報誌「まなぶひと」創刊—

「学びたいを応援したい」をコンセプトに、2016 年 9 月 30 日テスト発行した社会連携事業情報誌「TONPEI STYLE」が、このたび「まなぶひと」として新たに本格刊行いたしました。

東北大学が実施しているさまざまな公開講座、講演会、コンサート、企画展や公開施設など、地域のみなさまに広くご参加、ご来場いただきたいイベント情報等をお届けいたします。

「まなび」を愛するみなさまの「まなぶひととき」にお役立ていただければ、幸いです。

■もくじ

- 
1. ごあいさつ 2
 2. 社会のなかの東北大学 3
 3. 特集 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール 4
 4. イベントカレンダー 6
 5. イベント詳細情報 11
 6. キャンパスマップ 19

社会のなかの東北大学

■暮らしの中に生きる、身近な東北大学を目指して。

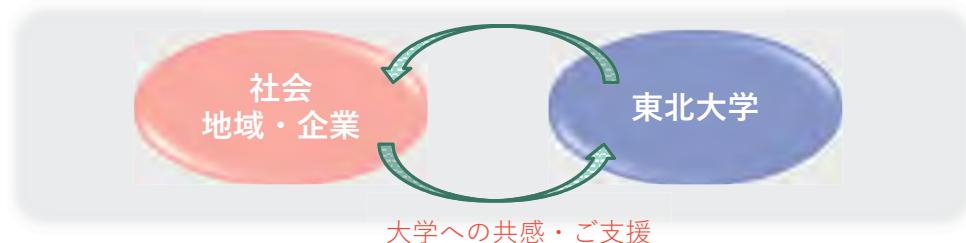
大学の使命はまず、教育・研究を通じて社会に有意な人材を輩出し、最新の研究成果を生み出していくことですが、もう一つ大切な使命があります。それは、地域社会との連携です。

東北大学は日本を代表する大学であるべきと同時に、東北、宮城、そして仙台に深く根付いた、地域のみなさまに身近な大学でなければなりません。

実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマの講義、また様々な文化事業などの社会連携活動を積極的に推進し、地域のみなさまに寄り添い、ご支援をいただけるよう努めていきたいと考えています。

みなさまの暮らしの中で、ともに歩み続ける東北大学に、どうぞご期待ください。

大学の教育・研究成果の還元・共有



■東北大学における主な社会連携事業

公開講座・講演会



- 市民のためのサイエンス講座
- 東北大学レクチャーシリーズ
- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

地域連携



- 中高校生職場体験、学校訪問
- 仙台七夕花火大会
- アカデミックツーリズム

文化事業



- 川内萩ホールフォーシーズンズプログラム
- 片平ミニロビーコンサート
- 歴史的資産の保存・公開 等

コンベンションの推進



- コンベンション誘致に関する窓口の設置
- コンベンション開催、学校等主催行事への供与
- 百周年記念会館川内萩ホールの運営

出前授業



- 減災ポケット「結」プロジェクト
- 楽しい理科の話
- サイエンスデイ

施設公開



- 東北大学史料館
- 総合学術博物館・理学部自然史標本館
- 東北大学植物園
- 東北大学附属図書館

東北大学に関するイベント情報を発信しています。

最新のイベント情報は、右記の QR コードを読み込むか、東北大学 WEB ページをご覧ください。

東北大学 イベント

URL : http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2017/cate_event/



―響きは熟成されたワインのように―

川内萩ホールの内装は「ワイン樽」をイメージして作られました。

天井は暗めに、床側ほど明るく。ワイングラスを透かし見るような光のグラデーションが、一期一会のステージの世界へと誘います。

「樺桧」を用いた床材はより深い響きを生み出す土台となり、繊細かつ力強いパフォーマンスへと引き立てます。

川内萩ホールの壁や天井には、より豊かで響きのある音を届けるための「リブ」と呼ばれる凹凸が、コンピューターシミュレーションにより効果的に配置されています。



ハイブリット可聴化技術

ホール内の音響設計には東北大学が開発した最新技術が用いられています。

実際の 1/10 の大きさの模型を使った音響実験の結果と、計算機でシミュレーションしたデータとを合成させるという「ハイブリッド可聴化技術」という技術を用いて設計されました。



川内萩ホールのピアノ

川内萩ホールには、スタインウェイ製とベーゼンドルファー製の2台のピアノがあります。
ピアノは室温 23 度前後、湿度 50 パーセントに保たれた保管庫で、割れやサビなどから大切に守られています。

オススの席

世界水準の音響を誇る川内萩ホールの中で、最も良い響きを味わえる席はどこなのでしょう？

それは、二階前列席とその真下付近の一階席と言われています。

ステージから 20m の位置にあるこの席のあたりに、ホール全体に反響した音の波がバランスよく集まるそうです。

また、意外と知られていないのが、敷席。敷席は壁際にあるためステージが見えづらいのですが、ここも比較的綺麗な響きを楽しめます。



ホールの窓から

川内萩ホールの周囲には、たくさんのメタセコイヤの木立があります。

メタセコイヤは杉の仲間ですが、きれいに紅葉するという特徴があります。

天皇の応接室!?

川内萩ホールには来客時や少人数の会議用の応接室があります。
この応接室は、天皇皇后両陛下が東日本大震災の復興状況のご視察に仙台を訪れた際にも使用されました。
椅子はとても座り心地がよく落ち着きがあり、とても居心地の良い空間です。



『私たちが取材しました。』

本記事は職場体験で本学を訪れた八乙女
中学校二年生の協力により作成しました。
東北大学は、仙台自分づくり教育「中学生職
場体験」の受け入れ事業所です。

【東北大学百周年記念会館 川内萩ホール】

宮城県仙台市青葉区川内 40 Tel : 022-795-3391

【アクセス：地下鉄東西線】

国際センター駅 西 1 出口徒歩 5 分

川内駅 南 2 出口徒歩 7 分

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/>





Event Calendar

2017.1.30 ～ 2017.3 東北大学関連 イベントカレンダー

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	その他
企画展 【参加自由】 	1/13(金)- 2/10(金)	1 附属図書館 日本の国連加盟 60 周年展示「日本と国連の歩み」～東北から世界を変えよう～	東北大学 附属図書館 ■川内キャンパス	平日 8:00-22:00 土日祝 10:00-22:00	入場無料
企画展 【参加自由】 	1/16(月)- 2/10(金) 平日のみ開場	2 東北大学附属図書館 新春特別展示 大名家の歴史と美意識 ～秋田家修復史料公開展～	東北大学 附属図書館 1 階 多目的室 ■川内キャンパス	11:00-16:00	入場無料
公開講座 【募集中】 	2/1(水)	3 東北大学金属材料研究所男女共同参画セミナー 「女性研究者に応援の気持ちを込めて」	・本多記念館 3 階会議室 (ランチミーティング) ・東北大学金属材料研究所 2 号館講堂(講演) ■片平キャンパス	12:00-12:50 ランチミーティング 13:00-14:30 講演及び質疑応答	1/30(月)までにメールで申込 imr-som@imr.tohoku.ac.jp 氏名/所属・職業等/ランチミーティング及び講演への参加の有無を記載
フィールドワーク 【募集中】 	2/4(土)	4 青葉山・八木山フットパスづくり 第 4 回フィールドワーク 青葉山・八木山の自然にかかわる	たまきさんサロン前集合 (東北大学環境科学研究科棟 1 階) ■青葉山キャンパス	9:30-14:30	参加費 1,000 円 (昼食代含む) 1/30 までに申込
公開講座 【募集中】 	2/4(土)	5 学士会主催 東北講演会「我が死生観」	東北大学 片平さくらホール ■片平キャンパス	講演会 14:00- 懇親会 15:40-	講演会:無料 懇親会:会費 3000 円 メールで申込 (チラシ参照)
公開講座 【募集中】 	2/8(水)	6 COI 東北拠点シンポジウム「さりげないセンシングによる幸せな健康長寿社会の実現に向けて」	日本橋ライフサイエンスハブ 8 階会議室	13:00-12:00 開場 交流会 17:15-19:00	参加費無料 定員 150 名 交流会:会費 4000 円 メール FAX で申込 (当日参加も可)
公開講座 【参加自由】	2/11(土・祝)	7 東北アジア研究センターシンポジウム 上廣歴史資料学研究部門開設 5 周年記念「歴史資料学と地域史研究」(セッション)	東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 6 階大ホール ■川内キャンパス	9:30-16:30	参加費無料 事前申込不要

詳細は P12 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	その他
公開講座 【参加自由】	2/12(日)	8 東北アジア研究センターシンポジウム 上廣歴史資料学研究部門開設 5 周年記念「歴史資料学と地域史研究」(記念講演・パネルディスカッション)	東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 2 階マルチメディアホール ■川内キャンパス	9:30-16:30	参加費無料 事前申込不要
公開講座 【募集中】 	2/11(土)	9 講座仙台学 2016 -仙台の魚貝歳時記-	仙台市市民活動サポートセンター	10:30-12:00	参加費無料 先着 80 名 2/4 までにメール/FAX にて申込
公開講座 【参加自由】 	2/11(土)	10 次世代超大型望遠鏡がつなぐハワイと宇宙 × 東北大学サイエンスカフェ (理学部サイエンスカフェ)	仙台市天文台 加藤・小坂ホール	18:00-19:30	参加費無料 先着 100 名 (開演 30 分前より整理券を配布) (1Drink 付) ※サイエンスカフェポイント対象講座
公開講座 【参加自由】 	2/15(水)	11 遺伝子組み換え技術 × 東北大学サイエンスカフェ 「世界の人口を養う技術ー作物のゲノム編集って何?」 (生命科学研究科サイエンスカフェ)	東北大学片平北門会館 エスパス ■片平キャンパス	18:00-19:45	参加費無料 (1Drink 付) ※サイエンスカフェポイント対象講座
その他 【参加自由】 	2/16(木)	12 乳がんサロン 映画「希望のチカラ」上映会〜乳がん治療に力を注いだ医師の物語〜	東北大学病院 外来診療棟 がんセンターボード室 ■星稜キャンパス	14:00-16:00	当院の乳がん患者さんとそのご家族が対象。 参加費無料
公開講座 【参加自由】 	2/18(土)	13 シンポジウム「東日本大震災後の子ども支援」開催案内〜岩手・宮城・福島 6 年〜	東北大学文科系総合研究棟 11 階大会議室 ■川内キャンパス	13:30-16:00	参加費無料 電話/FAX/メールで申込

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	その他
公開講座 【募集中】	2/18 (土)	14 シンポジウム「情報科学」から「行動の因果」を考える ―"みなもと"を探る。"あらわれ"を読み解く。	東北大学大学院 情報科学研究科 本部棟 2 階大会 議室 ■青葉山キャンパス	13:00- 17:00 受付 12:30-	参加費無料 HP より事前登録
公開講座 【募集中】	2/24(金)	15 国際経済情勢セミナー～英国 EU 離脱、米トランプ政権発足後の国際経済情勢の見方～	東北大学知の館 3F 講義室 ■片平キャンパス	16:00- 17:15 開場 15:30	参加費無料 メールで申込
公開講座 【参加自由】 	2/24(金)	16 サイエンスカフェ 第 137 回 「アレルギーになる仕組み、くすりが効く仕組み」	せんだいメディ アテーク	18:00- 19:45	参加費無料 (1Drink 付)
音楽 【発売中】 	3/5(日)	17 東北大学川内萩ホール フォーシーズンズ・プログラ ム 2016 - 2017 vol.4 『 Les Frères (レ・フレール) ANTHOLOGY -Petit- in SENDAI 』	東北大学百周年 記念会館 川内萩ホール ■川内キャンパス	15:00 開演 開場:14:30	S 席:5,000 円 A 席:4,000 円 学生席:3,000 円 ※学生券は河北チケ ットセンターのみ。 ※3 歳以下 1 名まで 保護者膝上無料。座 席必要な場合チケ ット要 *萩友会割引あり
公開講座 【募集中】 	3/9(木)	18 災害復興新生研究機 構シンポジウム 「未来を 創造する次世代の力」	東北大学川内北 キャンパス マル チメディア教育 研究棟 2 階マル チメディアホー ル ■川内キャンパス	13:00- 16:30 受付 12:30-	参加費無料 HP/FAX で申込

詳細は P12 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	その他
その他 【募集中】	3/12(日)	19 第 10 回東北大学病院からだの教室「定年までに身につけたい眠りの極意」～睡眠の専門家と考える、いま、準備すべきこと～	IDC 大塚家具 仙台ショールーム 8F 特設会場	11:00-12:30 開場 10:30	参加費無料(ドリンク付) 対象:定年退職後の生活を楽しみたい 50 代 60 代の方 定員 30 名 HP/メール/FAX で申込(3/7 締切)
その他 【参加自由】 	3/16(木)	20 乳がんサロン 治療中の外見ケアなんでもトーク	東北大学病院 外来診療棟 がんサロンの部屋 ■星稜キャンパス	14:00-16:00	当院の乳がん患者さんとそのご家族が対象。 参加費無料
公開講座 【参加自由】 	3/17(金)	21 サイエンスカフェ第 138 回「プレートテクトニックな宝石～美しく輝ける「石」と地球史～」	せんだいメディアテーク	18:00-19:45	参加費無料 (1Drink 付)

※当該記載事項は、1 月 25 日現在の情報です。記載内容等に変更がある場合がありますので、詳細については、必ず別添のチラシを参照するか、主催者にお問い合わせください。

※萩友会の会員は、割引価格でチケットを購入することができます。萩友会への加入方法や割引特典等の詳細は、「萩友会」で検索していただくか、東北大学萩友会（022-217-5059）までお問い合わせください。

※開催日が迫っているもので申し込みが必要なものは、すでに募集を締め切っている場合がありますので、必ず主催者に問い合わせを行ってください。また、募集期間が過ぎているものでも、定員に余裕がある場合は、参加申し込みを受け付ける場合もありますので、主催者に問い合わせを行ってください。



サイエンスカフェポイントとは？

東北大学が主催するサイエンスカフェ・リベラルアーツサロンでは、参加するごとにポイントがたまり、獲得ポイントに応じて東北大学オリジナルグッズをプレゼントしています。

ポイントカードはサイエンスカフェ・リベラルアーツサロンの受付にてお配りしています。
ぜひご活用ください！

東北大学 MOOC 開講

東北大学は、大規模公開オンライン講座 MOOC（Massive Open Online Course：ムーク）を開講しました。MOOC とは、世界中の登録者を持つインターネットを利用した新しい学習サービスです。本格的な大学の講義を無料でいつでもどこでも気軽に受講できます。受講には登録が必要です。詳しくは HP をご覧ください。

東北大学 MOOC

検索



一受講受付中の講座一

東北大学サイエンスシリーズ

「解明：オーロラの謎」

理学研究科 小原隆博 教授

講座開講日：2017 年 2 月 1 日(水)

募集開始日：2016 年 12 月 16 日(金)



東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

「MEMENTO MORI - 死を想え -」

文学研究科 鈴木岩弓 教授

講座開講日：2017 年 2 月 1 日(水)

募集開始日：2016 年 12 月 16 日(金)



「はぎともかい」？いいえ、「しゅうゆうかい」です。
会員になるととってもお得なサービスがあるんですよ。
東北大学を応援する人なら誰でも入れるんですって。

東北大学

みんなに萩友会を知ってもらうため、
僕たちも頑張って活躍しています。
気になったあなたも、
そうでないあなたも。



いつまでも、東北大学を身近に。

東北大学萩友会

検索



東北大学基金は社会とつながる活動を支援しています。



【減災ポケット「結」プロジェクト出前授業】

防災・減災についての知識を深めるためのツールとして
「減災ポケット『結』（ハンカチ）」を開発。

全国の小学5年生を対象に防災・減災の知識を広める活動
を支援しています。

東北大学基金の詳しい事業内容についてはウェブサイトよりご覧いただけます。

<ご寄附の方法>

クレジットカード決済・郵便振替・銀行振込

※東北大学基金へのご寄附は税制上の優遇措置を受けることができます。

東北大学基金事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1

TEL：022-217-5058・5905 FAX：022-217-4818

E-mail：kikin@grp.tohoku.ac.jp

東北大学基金

検索



東北大学関連 イベント詳細情報

2017/1/31～

各イベントのチラシをほぼ開催日順に掲載しています。
掲載事項（開催日時、イベント名、会場など）は変更
になる場合があります。
詳細は各お問合せ先にご確認ください。

1



日本の国連加盟 60 周年記念行事

© UN Photo

東北大学附属図書館

日本の国連加盟 60 周年展示

「日本と国連の歩み」

--東北から世界を変えよう!--

東北大学附属図書館は、1965 年 7 月、東北地方で初めて国連寄託図書館に指定され、活動を行っています。

第 1 部：平成 28 年 12 月 12 日（月）～平成 29 年 1 月 12 日（木）

国際情勢と SDGs：Sustainable Development Goals～世界を変えるための 17 の目標

第 2 部：平成 29 年 1 月 13 日（金）～平成 29 年 2 月 10 日（金）

日本の国連加盟 60 周年写真パネル展示「日本と国連の歩み」

【アクセス】

会場：東北大学附属図書館本館エントランス展示コーナー

（仙台市青葉区川内 27-1 仙台市地下鉄東西線川内駅より徒歩 7 分）

○入場無料 開館中いつでもご覧いただけます。

クイズにお答えいただいた方に
グッズをプレゼント！

※引換場所：本館 1 階レファレンスデスク

受付時間：平日 8:30-17:00

■主催：東北大学附属図書館

■協力：国連広報センター

■お問い合わせ先：東北大学附属図書館情報サービス課参考調査係

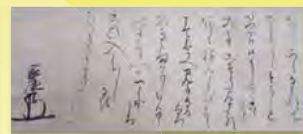
Tel: 022-795-5935 Mail: desk@grp.hokoku.ac.jp



2



修復史料「秋田延季画（梅の図）」



「徳川家康書状」



「豊臣秀吉自筆年頭報謝状」



修復史料「秋田就季筆和歌（いつまでか云ー）」

東北大学附属図書館 新春特別展示

大名家の歴史と美意識 ～秋田家修復史料公開展～

このたび、公益財団法人朝日新聞文化財団助成金により、見事に蘇った
絹本彩色史料 4 点を含む華麗な秋田家史料の数々を公開いたします。2017 年
1/16(月)～2/10(金)

★平日のみ開場 11:00～16:00 ●入場無料

東北大学附属図書館 1 階多目的室

仙台駅より地下鉄東西線「八木山動物公園駅行き」乗車
「川内駅」下車。南 2 出口から徒歩 5 分。主催：東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 27-1
Tel: 022-795-5911(代表)

3

文部科学省 科学技術人材育成費助成事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特例型）
東北大学金属材料研究所男女共同参画セミナー

「女性研究者に 応援の気持ちを込めて」

講師 中野 裕美 氏

研究者としての経験、キャリア形成と出産・育児に関する話に加え、女性
研究者の現状や、学会、日本学術会議、大学等での最近の取組に関する
話題を提供して頂きます。女性研究者が活躍するための環境、効果的な取り組みについて、今一度、
皆さんで考える機会を持ちませんか。

平成 29 年 2 月 1 日（水）12:00-14:30

東北大学金属材料研究所（片平キャンパス）

12:00-12:50 ランチミーティング

本多記念館 3 階会議室

中野教授をお迎えし、気軽な意見・
情報交換会を行います。

※昼食をご持参ください。

13:00-14:30 中野教授による講演
および質疑応答

金研 2 号館講堂



講師紹介

なかの ひろみ
中野 裕美 氏

豊橋技術科学大学

教授

学長補佐

（男女共同参画担当）

専門分野

無機材料、組織・構造解析

※参加を希望される方は、
1 月 30 日（月）までに
以下についてメールにて下記
連絡先までお知らせください。

1) 氏名

2) 所属・職業等

3) ランチミーティング及び講演へ
の参加の有無

■お申込み・ご連絡先

東北大学金属材料研究所

総務課総務係

imr-som@imr.hokoku.ac.jp

<http://www.imr.hokoku.ac.jp/>

主 催

東北大学金属材料研究所

男女共同参画 WG

4

竜ノ口溪谷の両岸に位置する青葉山地区・八木山地区には、魅力的な
地域資源が多数存在しています。深い溪谷に隔てられ、これまで一体
的な活用が困難であったこれらの地域資源をフットパスでつなぎ、新
たな魅力を創出することを目的に、フィールドワークを行います。

2017 年 2 月 4 日（土） 9:30～14:30

参加費：1 人 1,000 円（昼食代含む）

9:30-13:00 | フィールドワーク

ガイド：佐藤 修氏（緑を守り育てる宮城県連絡会議事務局長）

集合場所：たまきさんサロン前（東北大学大学院環境科学研究所棟 1F）

地下鉄東西線青葉山駅南 1 出口より徒歩 1 分

行 程：たまきさんサロン >> 金剛沢地区 >> 八木山市民センター

冬芽観察・アニマルトレッキング等を行う予定です。

13:00-14:30 | ランチミーティング

場 所：八木山市民センター

注意事項等

- ・どなたでも参加できます。
- ・参加を希望する方は、1 月 30 日（月）までに問い合わせ先まで申し込
み下さい。
- ・歩きやすい服装・靴でご参加ください。
- ・写真を使ったワークショップを予定していますので、デジタルカメラを
お持ちの方はご持参下さい。（デジタルカメラがなくても参加できます。）
- ・ランチミーティングに参加されない方は、参加費 200 円（保険料・資料代）
です。

問い合わせ先

東北大学キャンパスデザイン室

内山隆弘

TEL | 070-5091-4896

FAX | 022-217-5677

e-mail | takahiro.uchiama.e4@tohoku.ac.jp

主催：青葉山・八木山フットパスづくりの会 後援：八木山市民センター／片平市民センター

青葉山・八木山フットパスづくり 第 4 回フィールドワーク
青葉山・八木山の自然にかかわる

学生会主催 東北大学・東北大学校友会共催

東北講演会

「我が死生観」

日時 2017年2月4日(土) 14:00～講演会
15:40～懇親会

講師 宗教学者
／国際日本文化研究センター名誉教授

山折 哲雄氏

定員 120名

会費 無料(懇親会参加者3,000円)

会場 東北大学片平キャンパス 片平さくらホール
(仙台市青葉区片平2丁目1-1)

※JR「仙台」駅西口より徒歩17分
※仙台市地下鉄東西線「青葉通一番町」駅南1口より徒歩9分
※仙台市地下鉄南北線「五橋」駅北2・北4口より徒歩7分

主催 学生会

共催 東北大学・東北大学校友会 後援 河北新報社・NHK 仙台放送局

参加ご希望の方は、下記必要項目を明記の上、件名を「東北講演会」として、学生会までメールでお申込みください。

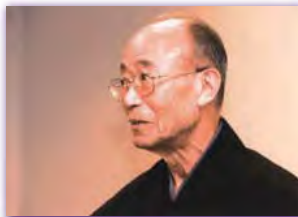
- ①氏名(フリガナ) ②住所・電話番号
③出身大学・学部・卒年・年齢 ※学生会員の方のみ
④同伴者氏名(フリガナ)
⑤参加希望の別(講演会・懇親会共に参加 講演会のみ参加)

メール: area@gakushikai.or.jp

※会費は、当日受付にてお支払ください。

※一般の方もお申込みいただけます。先着順、定員に達次第締め切らせていただきます。

学生会事業課 (03-3292-5955/ 平日9:00～17:00)



学術活動コンソーシアム

講座仙台学2016

-仙台的〇〇-

受講料
無料

〇〇の部分は仙台に関する内容を各出講大学の専門分野に基づき、各大学が自由に設定するという趣旨で開講します。

東北大学の2月開講講座のご案内

「仙台の都市構造」

2月4日(土)
13:00～14:30

理学研究科
磯田 弦 准教授



内容: 本講座は都市地理学の分析視点から、戦後大きく拡大した仙台の都市構造を明らかにします。どこまでが仙台大都市圏かを決めたのち、都心の雇用・商業の核、地価、駐車場、そして郊外の住まい、宅地開発などの現状を紹介いたします。これらにもとづき、今後人口減少時代における仙台の将来を考察します。

定員: 80名
先着順

「仙台の魚貝歳時記」

2月11日(土)
10:30～12:00

農学研究科
落合 芳博 教授



内容: 本講座は、仙台を中心として県下に出回る代表的な魚貝類やその加工品について、それぞれの食文化や流通事情、生物学的な特徴、栄養成分や健康機能性成分、美味しくなる季節や目利きのポイント、品質を良い状態に保つための保存方法や味を引き出す調理のコツなどについて、わかりやすく紹介します。「目からウロコ」の内容は魚貝類をより身近な存在に感じさせ、これからの食生活をより豊かなものしてくれることでしょう。

定員: 50名
先着順

申込方法:

会場: 仙台市民活動サポートセンター

EメールまたはFAXに、講座名、氏名(フリガナ)、住所、TEL・FAX番号を記入して、開催日の1週間前までにお申し込みください。

受講証を送付します。



申込先: 東北大学 教育・学生支援部 教務課 教育支援係
E-MAIL: gsc-sc@grp.tohoku.ac.jp
FAX: 022-795-7555 TEL: 022-795-4933
〒980-8576 仙台市青葉区川内41



さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会創生拠点

COI 東北拠点シンポジウム

さりげないセンシングによる 幸せな健康長寿社会の実現に向けて

COI東北拠点は「さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会創生拠点」として、さりげないセンシングに関する研究開発を加速させています。本シンポジウムでは、さりげないセンシングによる「幸せ」な健康長寿社会の実現に向けた本拠点の活動紹介、及び本拠点の若手・女性研究者を中心とした今後の取り組みに関する議論を行います。

プログラム

13:00 主催者挨拶 東北大学 理事 矢島 敬雅

来賓挨拶 ■文部科学省 科学技術・学術政策局(調整中) ■国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 松田 譲 ビジョン1 ビジョナリーリーダー

13:15 基調講演 ●「幸せ」なスマートエイジング社会の実現に向けて～さりげないセンシングの現状と未来～ 川島 隆太 東北大学加齢医学研究所 所長

13:55 基調報告 ●フェーズ2に突入!「幸せ」な健康長寿社会を実現するための本拠点の取り組み事例と今後の計画 高山 卓三 東北大学革新のイノベーション研究機構 機構長

●未来の健康長寿社会の実現に向けて～さりげないセンシングによる未来の健康長寿社会の実現に向けて～ 末永 智一 東北大学革新のイノベーション研究機構 副機構長

●未来の健康長寿社会の実現に向けて～さりげないセンシングによる未来の健康長寿社会の実現に向けて～ 逢坂 哲彌 早稲田大学 ナノ・ライフ創研研究機構 特任研究教授

●未来の健康長寿社会の実現に向けて～さりげないセンシングによる未来の健康長寿社会の実現に向けて～ 森上 信 早稲田大学 工学部 教授

●未来の健康長寿社会の実現に向けて～さりげないセンシングによる未来の健康長寿社会の実現に向けて～ 山本 格 早稲田大学 地域創生推進機構 特任教授

14:45 休憩

15:00 特別講演 ●高血圧予防と減塩 ●ホームモニタリングによる「幸せ」の実現を目指して～ 志賀 利一 オムロンヘルスケア 技術開発統括部 統括部長付 技術専門職

15:20 パネルディスカッション ●「幸せ」を実現するさりげないセンシングとデータ活用～

16:55 懇話会の挨拶

17:00 閉会

17:15～19:00 交流会(会費:4,000円) ※別途、参加お申込みください。 ※会費は、当日受付で頂戴いたします。

【定員150名】どなたでも参加できます ※当日参加も歓迎しますが、事前参加登録をお願ひします。当日受付で名刺一枚頂戴いたします。

開催日 2017.2.8(水) 13:00～17:00 12:00～開場、受付開始

会場 日本橋ライフサイエンスハブ 8F 会議室 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5

主催 国立大学法人 東北大学 革新的イノベーション研究機構

お問合わせ【事務局】 国立大学法人東北大学 イノベーション戦略推進本部 事務支援室 〒980-0845 仙台市青葉区常盤寺町468-1 レジリエント社会構築イノベーションセンター206 Tel.022-752-2186 Fax.022-752-2189 Email: promo-innov-koho@grp.tohoku.ac.jp Web: http://www.coi.tohoku.ac.jp

Google Map

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

日本橋ライフサイエンスハブ

登壇者 プロフィール (敬称略)

川島 隆太 東北大学加齢医学研究所 所長

1985年 東北大学医学部卒業。1989年 東北大学大学院医学研究科修士課程修了。スウェーデン王立カロリンスカ研究所客員研究員、東北大学加齢医学研究所助手、同講師、東北大学未来科学技術共同研究センター教授を経て2006年より現職。2014年4月より東北大学加齢医学研究所所長。

高山 卓三 株式会社東芝入社。東芝メディカルシステム株式会社、株式会社東芝 技術企画、ヘルスケア事業部ヘルスケアユニット開発部長を経て、2014年 東北大学客員教授、革新のイノベーション研究機構 機構長。2016年10月 株式会社東芝 技術統括部 ソリューション開発セクター ライフサイエンス推進部長。

末永 智一 1981年 東北大学大学院工学研究科修士課程修了後、東北大学工学部、米田ワイヤレスシステム、株式会社東芝、大学院工学研究科博士課程修了。助教授を経て、1998年 東北大学工学部工学研究科教授。2003年 東北大学工学部環境工学研究科教授。2008年 東北大学工学部環境工学研究科助教授。2010年 東北大学工学部、東北大学工学部工学研究科教授(NIPA-AIM) 教授。2012年 東北大学工学部教授特別補佐(研究担当)、COI東北拠点 研究リーダー。2014年 革新的イノベーション研究機構 副機構長。

逢坂 哲彌 早稲田大学 ナノ・ライフ創研研究機構 特任研究教授

1981年 東北大学工学部卒業。1984年 東北大学工学部工学研究科修士課程修了。1987年 東北大学工学部工学研究科助教授。1990年 東北大学工学部工学研究科教授。1993年 東北大学工学部工学研究科教授。1996年 東北大学工学部工学研究科教授。1999年 東北大学工学部工学研究科教授。2002年 東北大学工学部工学研究科教授。2005年 東北大学工学部工学研究科教授。2008年 東北大学工学部工学研究科教授。2011年 東北大学工学部工学研究科教授。2014年 東北大学工学部工学研究科教授。2017年 東北大学工学部工学研究科教授。2020年 東北大学工学部工学研究科教授。2023年 東北大学工学部工学研究科教授。2026年 東北大学工学部工学研究科教授。2029年 東北大学工学部工学研究科教授。2032年 東北大学工学部工学研究科教授。2035年 東北大学工学部工学研究科教授。2038年 東北大学工学部工学研究科教授。2041年 東北大学工学部工学研究科教授。2044年 東北大学工学部工学研究科教授。2047年 東北大学工学部工学研究科教授。2050年 東北大学工学部工学研究科教授。2053年 東北大学工学部工学研究科教授。2056年 東北大学工学部工学研究科教授。2059年 東北大学工学部工学研究科教授。2062年 東北大学工学部工学研究科教授。2065年 東北大学工学部工学研究科教授。2068年 東北大学工学部工学研究科教授。2071年 東北大学工学部工学研究科教授。2074年 東北大学工学部工学研究科教授。2077年 東北大学工学部工学研究科教授。2080年 東北大学工学部工学研究科教授。2083年 東北大学工学部工学研究科教授。2086年 東北大学工学部工学研究科教授。2089年 東北大学工学部工学研究科教授。2092年 東北大学工学部工学研究科教授。2095年 東北大学工学部工学研究科教授。2098年 東北大学工学部工学研究科教授。2101年 東北大学工学部工学研究科教授。2104年 東北大学工学部工学研究科教授。2107年 東北大学工学部工学研究科教授。2110年 東北大学工学部工学研究科教授。2113年 東北大学工学部工学研究科教授。2116年 東北大学工学部工学研究科教授。2119年 東北大学工学部工学研究科教授。2122年 東北大学工学部工学研究科教授。2125年 東北大学工学部工学研究科教授。2128年 東北大学工学部工学研究科教授。2131年 東北大学工学部工学研究科教授。2134年 東北大学工学部工学研究科教授。2137年 東北大学工学部工学研究科教授。2140年 東北大学工学部工学研究科教授。2143年 東北大学工学部工学研究科教授。2146年 東北大学工学部工学研究科教授。2149年 東北大学工学部工学研究科教授。2152年 東北大学工学部工学研究科教授。2155年 東北大学工学部工学研究科教授。2158年 東北大学工学部工学研究科教授。2161年 東北大学工学部工学研究科教授。2164年 東北大学工学部工学研究科教授。2167年 東北大学工学部工学研究科教授。2170年 東北大学工学部工学研究科教授。2173年 東北大学工学部工学研究科教授。2176年 東北大学工学部工学研究科教授。2179年 東北大学工学部工学研究科教授。2182年 東北大学工学部工学研究科教授。2185年 東北大学工学部工学研究科教授。2188年 東北大学工学部工学研究科教授。2191年 東北大学工学部工学研究科教授。2194年 東北大学工学部工学研究科教授。2197年 東北大学工学部工学研究科教授。2200年 東北大学工学部工学研究科教授。2203年 東北大学工学部工学研究科教授。2206年 東北大学工学部工学研究科教授。2209年 東北大学工学部工学研究科教授。2212年 東北大学工学部工学研究科教授。2215年 東北大学工学部工学研究科教授。2218年 東北大学工学部工学研究科教授。2221年 東北大学工学部工学研究科教授。2224年 東北大学工学部工学研究科教授。2227年 東北大学工学部工学研究科教授。2230年 東北大学工学部工学研究科教授。2233年 東北大学工学部工学研究科教授。2236年 東北大学工学部工学研究科教授。2239年 東北大学工学部工学研究科教授。2242年 東北大学工学部工学研究科教授。2245年 東北大学工学部工学研究科教授。2248年 東北大学工学部工学研究科教授。2251年 東北大学工学部工学研究科教授。2254年 東北大学工学部工学研究科教授。2257年 東北大学工学部工学研究科教授。2260年 東北大学工学部工学研究科教授。2263年 東北大学工学部工学研究科教授。2266年 東北大学工学部工学研究科教授。2269年 東北大学工学部工学研究科教授。2272年 東北大学工学部工学研究科教授。2275年 東北大学工学部工学研究科教授。2278年 東北大学工学部工学研究科教授。2281年 東北大学工学部工学研究科教授。2284年 東北大学工学部工学研究科教授。2287年 東北大学工学部工学研究科教授。2290年 東北大学工学部工学研究科教授。2293年 東北大学工学部工学研究科教授。2296年 東北大学工学部工学研究科教授。2299年 東北大学工学部工学研究科教授。2302年 東北大学工学部工学研究科教授。2305年 東北大学工学部工学研究科教授。2308年 東北大学工学部工学研究科教授。2311年 東北大学工学部工学研究科教授。2314年 東北大学工学部工学研究科教授。2317年 東北大学工学部工学研究科教授。2320年 東北大学工学部工学研究科教授。2323年 東北大学工学部工学研究科教授。2326年 東北大学工学部工学研究科教授。2329年 東北大学工学部工学研究科教授。2332年 東北大学工学部工学研究科教授。2335年 東北大学工学部工学研究科教授。2338年 東北大学工学部工学研究科教授。2341年 東北大学工学部工学研究科教授。2344年 東北大学工学部工学研究科教授。2347年 東北大学工学部工学研究科教授。2350年 東北大学工学部工学研究科教授。2353年 東北大学工学部工学研究科教授。2356年 東北大学工学部工学研究科教授。2359年 東北大学工学部工学研究科教授。2362年 東北大学工学部工学研究科教授。2365年 東北大学工学部工学研究科教授。2368年 東北大学工学部工学研究科教授。2371年 東北大学工学部工学研究科教授。2374年 東北大学工学部工学研究科教授。2377年 東北大学工学部工学研究科教授。2380年 東北大学工学部工学研究科教授。2383年 東北大学工学部工学研究科教授。2386年 東北大学工学部工学研究科教授。2389年 東北大学工学部工学研究科教授。2392年 東北大学工学部工学研究科教授。2395年 東北大学工学部工学研究科教授。2398年 東北大学工学部工学研究科教授。2401年 東北大学工学部工学研究科教授。2404年 東北大学工学部工学研究科教授。2407年 東北大学工学部工学研究科教授。2410年 東北大学工学部工学研究科教授。2413年 東北大学工学部工学研究科教授。2416年 東北大学工学部工学研究科教授。2419年 東北大学工学部工学研究科教授。2422年 東北大学工学部工学研究科教授。2425年 東北大学工学部工学研究科教授。2428年 東北大学工学部工学研究科教授。2431年 東北大学工学部工学研究科教授。2434年 東北大学工学部工学研究科教授。2437年 東北大学工学部工学研究科教授。2440年 東北大学工学部工学研究科教授。2443年 東北大学工学部工学研究科教授。2446年 東北大学工学部工学研究科教授。2449年 東北大学工学部工学研究科教授。2452年 東北大学工学部工学研究科教授。2455年 東北大学工学部工学研究科教授。2458年 東北大学工学部工学研究科教授。2461年 東北大学工学部工学研究科教授。2464年 東北大学工学部工学研究科教授。2467年 東北大学工学部工学研究科教授。2470年 東北大学工学部工学研究科教授。2473年 東北大学工学部工学研究科教授。2476年 東北大学工学部工学研究科教授。2479年 東北大学工学部工学研究科教授。2482年 東北大学工学部工学研究科教授。2485年 東北大学工学部工学研究科教授。2488年 東北大学工学部工学研究科教授。2491年 東北大学工学部工学研究科教授。2494年 東北大学工学部工学研究科教授。2497年 東北大学工学部工学研究科教授。2500年 東北大学工学部工学研究科教授。2503年 東北大学工学部工学研究科教授。2506年 東北大学工学部工学研究科教授。2509年 東北大学工学部工学研究科教授。2512年 東北大学工学部工学研究科教授。2515年 東北大学工学部工学研究科教授。2518年 東北大学工学部工学研究科教授。2521年 東北大学工学部工学研究科教授。2524年 東北大学工学部工学研究科教授。2527年 東北大学工学部工学研究科教授。2530年 東北大学工学部工学研究科教授。2533年 東北大学工学部工学研究科教授。2536年 東北大学工学部工学研究科教授。2539年 東北大学工学部工学研究科教授。2542年 東北大学工学部工学研究科教授。2545年 東北大学工学部工学研究科教授。2548年 東北大学工学部工学研究科教授。2551年 東北大学工学部工学研究科教授。2554年 東北大学工学部工学研究科教授。2557年 東北大学工学部工学研究科教授。2560年 東北大学工学部工学研究科教授。2563年 東北大学工学部工学研究科教授。2566年 東北大学工学部工学研究科教授。2569年 東北大学工学部工学研究科教授。2572年 東北大学工学部工学研究科教授。2575年 東北大学工学部工学研究科教授。2578年 東北大学工学部工学研究科教授。2581年 東北大学工学部工学研究科教授。2584年 東北大学工学部工学研究科教授。2587年 東北大学工学部工学研究科教授。2590年 東北大学工学部工学研究科教授。2593年 東北大学工学部工学研究科教授。2596年 東北大学工学部工学研究科教授。2599年 東北大学工学部工学研究科教授。2602年 東北大学工学部工学研究科教授。2605年 東北大学工学部工学研究科教授。2608年 東北大学工学部工学研究科教授。2611年 東北大学工学部工学研究科教授。2614年 東北大学工学部工学研究科教授。2617年 東北大学工学部工学研究科教授。2620年 東北大学工学部工学研究科教授。2623年 東北大学工学部工学研究科教授。2626年 東北大学工学部工学研究科教授。2629年 東北大学工学部工学研究科教授。2632年 東北大学工学部工学研究科教授。2635年 東北大学工学部工学研究科教授。2638年 東北大学工学部工学研究科教授。2641年 東北大学工学部工学研究科教授。2644年 東北大学工学部工学研究科教授。2647年 東北大学工学部工学研究科教授。2650年 東北大学工学部工学研究科教授。2653年 東北大学工学部工学研究科教授。2656年 東北大学工学部工学研究科教授。2659年 東北大学工学部工学研究科教授。2662年 東北大学工学部工学研究科教授。2665年 東北大学工学部工学研究科教授。2668年 東北大学工学部工学研究科教授。2671年 東北大学工学部工学研究科教授。2674年 東北大学工学部工学研究科教授。2677年 東北大学工学部工学研究科教授。2680年 東北大学工学部工学研究科教授。2683年 東北大学工学部工学研究科教授。2686年 東北大学工学部工学研究科教授。2689年 東北大学工学部工学研究科教授。2692年 東北大学工学部工学研究科教授。2695年 東北大学工学部工学研究科教授。2698年 東北大学工学部工学研究科教授。2701年 東北大学工学部工学研究科教授。2704年 東北大学工学部工学研究科教授。2707年 東北大学工学部工学研究科教授。2710年 東北大学工学部工学研究科教授。2713年 東北大学工学部工学研究科教授。2716年 東北大学工学部工学研究科教授。2719年 東北大学工学部工学研究科教授。2722年 東北大学工学部工学研究科教授。2725年 東北大学工学部工学研究科教授。2728年 東北大学工学部工学研究科教授。2731年 東北大学工学部工学研究科教授。2734年 東北大学工学部工学研究科教授。2737年 東北大学工学部工学研究科教授。2740年 東北大学工学部工学研究科教授。2743年 東北大学工学部工学研究科教授。2746年 東北大学工学部工学研究科教授。2749年 東北大学工学部工学研究科教授。2752年 東北大学工学部工学研究科教授。2755年 東北大学工学部工学研究科教授。2758年 東北大学工学部工学研究科教授。2761年 東北大学工学部工学研究科教授。2764年 東北大学工学部工学研究科教授。2767年 東北大学工学部工学研究科教授。2770年 東北大学工学部工学研究科教授。2773年 東北大学工学部工学研究科教授。2776年 東北大学工学部工学研究科教授。2779年 東北大学工学部工学研究科教授。2782年 東北大学工学部工学研究科教授。2785年 東北大学工学部工学研究科教授。2788年 東北大学工学部工学研究科教授。2791年 東北大学工学部工学研究科教授。2794年 東北大学工学部工学研究科教授。2797年 東北大学工学部工学研究科教授。2800年 東北大学工学部工学研究科教授。2803年 東北大学工学部工学研究科教授。2806年 東北大学工学部工学研究科教授。2809年 東北大学工学部工学研究科教授。2812年 東北大学工学部工学研究科教授。2815年 東北大学工学部工学研究科教授。2818年 東北大学工学部工学研究科教授。2821年 東北大学工学部工学研究科教授。2824年 東北大学工学部工学研究科教授。2827年 東北大学工学部工学研究科教授。2830年 東北大学工学部工学研究科教授。2833年 東北大学工学部工学研究科教授。2836年 東北大学工学部工学研究科教授。2839年 東北大学工学部工学研究科教授。2842年 東北大学工学部工学研究科教授。2845年 東北大学工学部工学研究科教授。2848年 東北大学工学部工学研究科教授。2851年 東北大学工学部工学研究科教授。2854年 東北大学工学部工学研究科教授。2857年 東北大学工学部工学研究科教授。2860年 東北大学工学部工学研究科教授。2863年 東北大学工学部工学研究科教授。2866年 東北大学工学部工学研究科教授。2869年 東北大学工学部工学研究科教授。2872年 東北大学工学部工学研究科教授。2875年 東北大学工学部工学研究科教授。2878年 東北大学工学部工学研究科教授。2881年 東北大学工学部工学研究科教授。2884年 東北大学工学部工学研究科教授。2887年 東北大学工学部工学研究科教授。2890年 東北大学工学部工学研究科教授。2893年 東北大学工学部工学研究科教授。2896年 東北大学工学部工学研究科教授。2899年 東北大学工学部工学研究科教授。2902年 東北大学工学部工学研究科教授。2905年 東北大学工学部工学研究科教授。2908年 東北大学工学部工学研究科教授。2911年 東北大学工学部工学研究科教授。2914年 東北大学工学部工学研究科教授。2917年 東北大学工学部工学研究科教授。2920年 東北大学工学部工学研究科教授。2923年 東北大学工学部工学研究科教授。2926年 東北大学工学部工学研究科教授。2929年 東北大学工学部工学研究科教授。2932年 東北大学工学部工学研究科教授。2935年 東北大学工学部工学研究科教授。2938年 東北大学工学部工学研究科教授。2941年 東北大学工学部工学研究科教授。2944年 東北大学工学部工学研究科教授。2947年 東北大学工学部工学研究科教授。2950年 東北大学工学部工学研究科教授。2953年 東北大学工学部工学研究科教授。2956年 東北大学工学部工学研究科教授。2959年 東北大学工学部工学研究科教授。2962年 東北大学工学部工学研究科教授。2965年 東北大学工学部工学研究科教授。2968年 東北大学工学部工学研究科教授。2971年 東北大学工学部工学研究科教授。2974年 東北大学工学部工学研究科教授。2977年 東北大学工学部工学研究科教授。2980年 東北大学工学部工学研究科教授。2983年 東北大学工学部工学研究科教授。2986年 東北大学工学部工学研究科教授。2989年 東北大学工学部工学研究科教授。2992年 東北大学工学部工学研究科教授。2995年 東北大学工学部工学研究科教授。2998年 東北大学工学部工学研究科教授。3001年 東北大学工学部工学研究科教授。3004年 東北大学工学部工学研究科教授。3007年 東北大学工学部工学研究科教授。3010年 東北大学工学部工学研究科教授。3013年 東北大学工学部工学研究科教授。3016年 東北大学工学部工学研究科教授。3019年 東北大学工学部工学研究科教授。3022年 東北大学工学部工学研究科教授。3025年 東北大学工学部工学研究科教授。3028年 東北大学工学部工学研究科教授。3031年 東北大学工学部工学研究科教授。3034年 東北大学工学部工学研究科教授。3037年 東北大学工学部工学研究科教授。3040年 東北大学工学部工学研究科教授。3043年 東北大学工学部工学研究科教授。3046年 東北大学工学部工学研究科教授。3049年 東北大学工学部工学研究科教授。3052年 東北大学工学部工学研究科教授。3055年 東北大学工学部工学研究科教授。3058年 東北大学工学部工学研究科教授。3061年 東北大学工学部工学研究科教授。3064年 東北大学工学部工学研究科教授。3067年 東北大学工学部工学研究科教授。3070年 東北大学工学部工学研究科教授。3073年 東北大学工学部工学研究科教授。3076年 東北大学工学部工学研究科教授。3079年 東北大学工学部工学研究科教授。3082年 東北大学工学部工学研究科教授。3085年 東北大学工学部工学研究科教授。3088年 東北大学工学部工学研究科教授。3091年 東北大学工学部工学研究科教授。3094年 東北大学工学部工学研究科教授。3097年 東北大学工学部工学研究科教授。3100年 東北大学工学部工学研究科教授。3103年 東北大学工学部工学研究科教授。3106年 東北大学工学部工学研究科教授。3109年 東北大学工学部工学研究科教授。3112年 東北大学工学部工学研究科教授。3115年 東北大学工学部工学研究科教授。3118年 東北大学工学部工学研究科教授。3121年 東北大学工学部工学研究科教授。3124年 東北大学工学部工学研究科教授。3127年 東北大学工学部工学研究科教授。3130年 東北大学工学部工学研究科教授。3133年 東北大学工学部工学研究科教授。3136年 東北大学工学部工学研究科教授。3139年 東北大学工学部工学研究科教授。3142年 東北大学工学部工学研究科教授。3145年 東北大学工学部工学研究科教授。3148年 東北大学工学部工学研究科教授。3151年 東北大学工学部工学研究科教授。3154年 東北大学工学部工学研究科教授。3157年 東北大学工学部工学研究科教授。3160年 東北大学工学部工学研究科教授。3163年 東北大学工学部工学研究科教授。3166年 東北大学工学部工学研究科教授。3169年 東北大学工学部工学研究科教授。3172年 東北大学工学部工学研究科教授。3175年 東北大学工学部工学研究科教授。3178年 東北大学工学部工学研究科教授。3181年 東北大学工学部工学研究科教授。3184年 東北大学工学部工学研究科教授。3187年 東北大学工学部工学研究科教授。3190年 東北大学工学部工学研究科教授。3193年 東北大学工学部工学研究科教授。3196年 東北大学工学部工学研究科教授。3199年 東北大学工学部工学研究科教授。3202年 東北大学工学部工学研究科教授。3205年 東北大学工学部工学研究科教授。3208年 東北大学工学部工学研究科教授。3211年 東北大学工学部工学研究科教授。3214年 東北大学工学部工学研究科教授。3217年 東北大学工学部工学研究科教授。3220年 東北大学工学部工学研究科教授。3223年 東北大学工学部工学研究科教授。3226年 東北大学工学部工学研究科教授。3229年 東北大学工学部工学研究科教授。3232年 東北大学工学部工学研究科教授。3235年 東北大学工学部工学研究科教授。3238年 東北大学工学部工学研究科教授。3241年 東北大学工学部工学研究科教授。3244年 東北大学工学部工学研究科教授。3247年 東北大学工学部工学研究科教授。3250年 東北大学工学部工学研究科教授。3253年 東北大学工学部工学研究科教授。3256年 東北大学工学部工学研究科教授。3259年 東北大学工学部工学研究科教授。3262年 東北大学工学部工学研究科教授。3265年 東北大学工学部工学研究科教授。3268年 東北大学工学部工学研究科教授。3271年 東北大学工学部工学研究科教授。3274年 東北大学工学部工学研究科教授。3277年 東北大学工学部工学研究科教授。3280年 東北大学工学部工学研究科教授。3283年 東北大学工学部工学研究科教授。3286年 東北大学工学部工学研究科教授。3289年 東北大学工学部工学研究科教授。3292年 東北大学工学部工学研究科教授

歴史資料学と地域史研究

2017.
2/11(土)
12(日)
入場無料
申込不要

2/11(土) 時間：9:30～16:30
会場：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 6階大ホール
(定員 140名)

深化する歴史研究 —最新の研究動向と未来への展望—

Session 1: 「歴史資料が切り拓く世界—幕末維新期の日本と世界」(9:40～12:30)

- 1 ルー・ブレンダン (帝京大学外国語学部専任講師)
- 2 ジュリオ・アントニオ・ベルテリ (大阪大学言語文化研究科言語社会専攻准教授)
- 3 山添博史 (防衛省防衛研究所主任研究官)
- 4 友田昌宏 (東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門助教)
- ◎コメント：森田朋子 (中部大学人文学部歴史地理学教授)

Session 2: 「これからの歴史資料保全活動」(13:30～16:30)

- 1 櫻井和人 (白石市図書館長)
- 2 小味浩之 (一関市芦東山記念館業務推進員)
- 3 泉田邦彦 (東北大学大学院文学研究科博士後期課程)
- 4 高橋陽一 (東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門助教)
- ◎コメント：ヨハネス・ヴィルヘルム (ウィーン大学講師)
- ディモシー・エイモス (シンガポール国立大学准教授)

記念講演・パネルディスカッション

2/12(日) 時間：9:30～16:30
会場：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 2階マルチメディアホール
(定員 400名)

歴史資料学と地域史研究

記念講演・パネルディスカッション

- 講演 1 平川新 (宮城学院女子大学学長・東北大学東北アジア研究センター客員教授・上廣歴史資料学研究部門長)
「歴史研究と郷土史」
- 講演 2 フィリップ・ブラウン (オハイオ州立大学教授) 「地方史がつくる日本史 Local History as National History」
- 講演 3 デビッド・ハウエル (ハーバード大学教授) 「史料がつくる歴史認識—尿尿の世界史を例として—」
- 講演 4 河西英通 (広島大学大学院文学研究科教授) 「どこまでが地域史料か？—無手勝流史料論—」
- 講演 5 上山真知子 (山形大学地域教育文化学部教授) 「資料レスキューと心理社会的支援」
- <パネルディスカッション>「歴史資料学の成果と課題」

主催：東北大学東北アジア研究センター

後援：東北大学学術重点研究「世界を拓く国際日本学・日本研究拠点形成」プロジェクト/東北大学災害科学国際研究所/NPO 法人宮城歴史資料保存ネットワーク/科研費基盤研究(B)「歴史文化に対応するネットワーク型歴史資料保存システム構築のための実証的研究」グループ/科研費基盤的競争的資金「歴史資料保全活動の心理社会的影響に関する基礎研究」グループ

☆問合せ：東北大学東北アジア研究センター 上廣歴史資料学研究部門 (TEL) 022-795-3196 または 022-795-3140

アクセス 地下鉄東西線「川内駅」下車、「南2出口」より徒歩1分。※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。



歴史資料学と地域史研究

2/11(土) 時間：9:30～16:30 セッション
会場：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 6階大ホール

2/12(日) 時間：9:30～16:30 記念講演・パネルディスカッション
会場：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 2階マルチメディアホール

セッション 深化する歴史研究 —最新の研究動向と未来への展望—

Session 1: 「歴史資料が切り拓く世界—幕末維新期の日本と世界」(9:40～12:30)

- 1 ルー・ブレンダン (帝京大学外国語学部専任講師)
- 「日本史の基礎を担ったバリエーション豊かな官教団」
- 2 ジュリオ・アントニオ・ベルテリ (大阪大学言語文化研究科言語社会専攻准教授)
- 「初代駐日イタリア公使夫人メリッ・サリエ・ド・ラ・トゥール」の未刊記録に見る幕末・明治初期の日本
- 3 山添博史 (防衛省防衛研究所主任研究官)
- 「ユーラシア帝国ロシアの境界問題と幕末日本」
- 4 友田昌宏 (東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門助教)
- 「幕末・明治期における東北人士の対外観—大規模調査・宮島誠一郎を素材として—」
- ◎コメント：森田朋子 (中部大学人文学部歴史地理学教授)



友人の図 (大規模調査「新橋山」より。一関市教育委員会提供)

Session 2: 「これからの歴史資料保全活動」(13:30～16:30)

- 1 櫻井和人 (白石市図書館長)
- 「歴史資料保存活動の現場から—宮城県白石市の事例—」
- 2 小味浩之 (一関市芦東山記念館業務推進員)
- 「一関市田家の土蔵の温湿度モニタリングについて」
- 3 泉田邦彦 (東北大学大学院文学研究科博士後期課程)
- 「原発被災地における歴史・文化継承の意義について—福島県双葉町同地区の事例から—」
- 4 高橋陽一 (東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門助教)
- 「歴史資料保全活動の成果をどう伝えるか—宮城県川崎町佐藤仁右衛門家文書をめぐる活動—」
- ◎コメント：ヨハネス・ヴィルヘルム (ウィーン大学講師)
- ディモシー・エイモス (シンガポール国立大学准教授)



<会場案内図>



会場 東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟

- ◎2月11日(土)：6階大ホール
正面入口 (地下鉄川内駅) よりお入りください。
- ◎2月12日(日)：2階マルチメディアホール
正面入口 (地下鉄川内駅) または東側階段をご利用ください。

アクセス 地下鉄東西線「川内駅」下車、「南2出口」より徒歩1分。
※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

2017.
2/11(土)
12(日)
入場無料
申込不要

次世代超大型望遠鏡がつなぐ ハワイと宇宙 東北大学サイエンスカフェ



同日10:00-16:45の時間帯で、宇宙とハワイの関係をより深く学べる、東北大学展開ゼミ生による体験型イベント(スプレアード、討論体験、クイズラリー、すごろく、望遠鏡制作など)を仙台市天文台にて開催します。参加は無料です。

「国立天文台」

日時：2017年2月11日(土) 18:00-19:30

場所：仙台市天文台 加藤・小坂ホール (仙台市青葉区錦ケ丘9丁目29-32)

定員：先着100名

連絡：TEL: 022-795-6608 FAX: 022-795-6513 E-mail: mikito@astr.tohoku.ac.jp

講師：



青木 和光
国立天文台TMT推進室 准教授



千葉 征司
東北大学大学院理学研究科天文学専攻 教授



秋山 正幸
東北大学大学院理学研究科天文学専攻 准教授

司会：田中 幹人 (東北大学学際科学フロンティア研究所 助教)

18:00-18:05 開会挨拶

18:05-18:40 第一部

●ハワイ島マウナケア山に建設が予定されている次世代超大型望遠鏡 (TMT) 計画についての青木和光氏による講演。

18:40-19:25 第二部

●「TMTへの期待と計画の課題」というテーマで、講師3名と一般市民を交えたパネルディスカッションを行います。

19:25-19:30 終了挨拶



作物の明日を考える x Science Café



世界の人口を養う技術： 作物のゲノム編集って何？

日時：2017年2月15日(水) 18:00～19:45

場所：東北大学片平キャンパス

片平北門会館 エスパス

入場無料 事前登録不要 直接お越しください

話題・ゲスト

科学を語り合う

渡辺 政隆 (筑波大学)

品種改良のブレークスルー：遺伝子組換えがもたらしたもの

日出間 純 (東北大学・大学院生命科学研究科)

ゲノム編集：未来作物創出技術

土岐 精一 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)



主催 東北大学生命科学研究科

後援 東北大学

協力 (株)三菱化学テクノロジー

お問合せ 東北大学生命科学研究科広報室

lifsci-pr@grp.tohoku.ac.jp



乳がんサロンのお知らせ

東北大学病院では、乳がんを患った方が集えるサロンを月1回(毎月第3木曜日)のペースで開催しています。

会場: 外来棟 キャンサーボード室 14~16時

(床屋さんの通りの赤いポストの脇のお部屋です)

対象となる方: 当院の乳がん患者さんとそのご家族

日程	内容 (ミニレクチャーとおしゃべりトークで構成しています)	担当
9/14 (水)	乳がんのリハビリ なんでもトーク ※9月だけ水曜開催	リハビリ部 高橋晴美さん
10/13 (木)	治療中の外見ケア なんでもトーク	リソエステティシャン 瀬戸真由美さん
11/17 (木)	乳がん遺伝 なんでもトーク	遺伝カウンセラー 津幡真理さん
12/15 (木)	ピアサポートによる下着の相談 なんでもトーク&クリスマス企画	りんりんの会 高橋修子
1/19 (木)	乳がんのリンパ浮腫とその対策 なんでもトーク	医療リハビリセラピスト 千葉美貴さん
2/16 (木)	映画「希望のチカラ」上映会 ～乳がん治療に力を注いだ医師の物語～	乳がん看護認定看護師 がん相談員
3/16 (木)	治療中の外見ケア なんでもトーク	リソエステティシャン 瀬戸真由美



参加は無料!
事前申し込みも
不要です。体調
に合わせて、ご
参加ください

お問い合わせ先

乳がん看護認定看護師 **金澤麻衣子**
緩和ケアセンター **022-717-7768**
共催: がん相談室・緩和ケアセンター

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”第8回シンポジウム

“東日本大震災後の子ども支援”

～岩手・宮城・福島の子どもの6年間～

東日本大震災から6年を迎えます。岩手・宮城・福島において被災された子ども達やその保護者の支援に携わってきた、支援者の方々の報告をもとに、今後の展望について議論をいたします。

・宮城から

「被災地の日常と学校教育相談活動」

～被災地内支援者から見てくるもの～

宮城県スクールカウンセラー 星 美保 氏

・福島から

「東日本大震災・原発事故と福島の子どもの」

～長期避難とその影響について～

特定非営利活動法人ピースふくしま 常務理事 中鉢 博之 氏

・岩手から

「5年間の相談支援活動をふりかえる」

～大槌町子育て支援センターでの取り組みを中心に～

臨床心理士 土屋 文彦 氏

・質疑応答

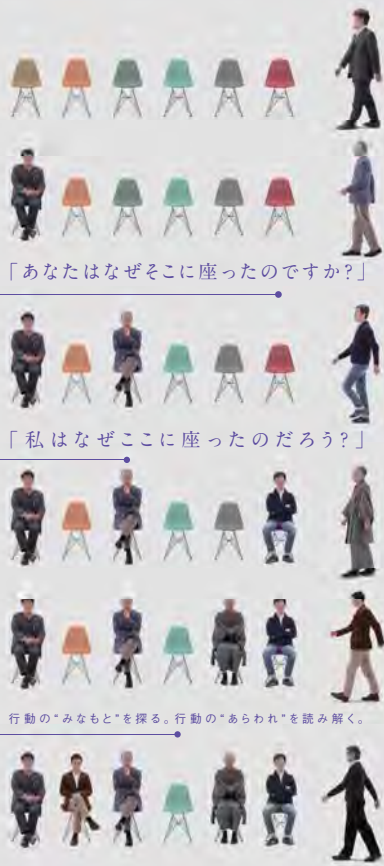
・日時 2017年2月18日(土) 13:30～16:00
・会場 東北大学文系総合研究棟 11階大会議室
・参加者 テーマに関心のある方はどなたでも
・参加費 無料
・定員 100名(定員になり次第締め切り)
・申込方法 電話・FAX・E-mailでお申し込みください

・問合せ先: 東北大学大学院教育学研究科
震災子ども支援室 “S-チル”
Tel&Fax 022-795-3263
E-mail: s.children@sed.tohoku.ac.jp

地図の出自: <http://www.craftmap.hoxi.net/>



「情報科学」から「行動の因果」を考える



「あなたはなぜそこに座ったのですか？」

「私はなぜここに座ったのだろうか？」

行動の“みなもと”を探る。行動の“あらわれ”を読み解く。

2017年2月18日(土) 13:00 > 17:00 参加無料

定員150名

アクセス | 市営地下鉄東西線青葉山駅北1出口より徒歩1分

主催 | 東北大学 大学院情報科学研究科
お問い合わせ | 東北大学 大学院情報科学研究科 総務係
E-mail: is-somu@grp.tohoku.ac.jp TEL: 022-795-5813

参加申込

事前にウェブサイトからの参加申込を
お願いいたします。当日参加も可能です。
www.is.tohoku.ac.jp/sympo/



東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム 「情報科学」から「行動の因果」を考える

“みなもと”を探る。“あらわれ”を読み解く。

駅や公園、教室などで、座る席を選ぶことは日常的な行動の一つです。でもなぜそこに座ったのか?と問われたら、あなたはその行動を明快地説明できるでしょうか。理由は一つではないかもしれませんが、特に理由なく選んでいることも多いでしょう。実際、私たちの行動にはとても多くの要素が関係しており、そこには人類共通の普遍的な理由も、ある人に特有の理由もあるはずで、そこで、今回の情報科学研究科シンポジウムでは、「情報科学」の視点から「行動の因果」を読み解きたい。行動の“みなもと”を探り、行動の“あらわれ”を読み解くことで、自分の行動をどのように理解できるのか、本シンポジウムに参加して、私たちの日々の行動に潜む自分らしさを、一緒に考えてみませんか。

講演1 自分らしさを構成するゲノム

ゲノム科学の視点から 木下 賢吾 教授
(応用情報科学専攻 応用生命情報学)

ゲノム解析の進歩に伴い、親子で伝わるメカニズムやゲノムが自分らしさを決める仕組みの理解が急速に進んでいます。本講演では、ゲノム解析技術の進歩の進歩の一環として、個人を表現する遺伝子検査サービスで解析し、その結果を具体的に比較することで、個人のゲノム解析サービスの可能性と課題を説明します。

講演2 ストレスと行動の接点を探る

神経科学の視点から 井藤 慶一 教授
(システム情報科学専攻 生体システム情報学)

変動する外界の影響を受け、私たちは日々流動的な状態にあります。特に私たちの状態を「ストレス」は、神として生存するものを脅かす要因ともなります。これにさらされるために、我々が生きている生物体内環境を維持する防衛システムです。今回は、特に脳内ストレス防御機構とその行動への影響について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講演3 生物行動のシステム科学

システム科学の視点から 橋本 浩一 教授
(システム情報科学専攻 知能ロボティクス)

動物にとって移動することは最も重要な生命活動の一つです。適切な環境を認識して目的地に到達することやナビゲーションと結びつき、ナビゲーションには環境や体内の情報を移動行動に反映する能力が不可欠です。今回は、生物のナビゲーションの仕組み(脳内計算)をシステム科学的に説明する手法を説明します。

講演4 離れ離れの数学

行動科学の視点から 瀬戸 真美 教授
(情報基礎科学専攻 情報基礎数学)

生物現象研究の分野分野として数理生物学が盛んなテーマの一つが動物の行動です。本講演では、動物の親子関係をモデル化した環境として生じる生物学的現象の一例として、数学を用いて説明される離れ離れの「子離れのタイミング」の決定理論について紹介します。現象の科学的な見方としての数学に慣れてみて下さい。

講演5 マンガの読みの視線行動

認知心理学の視点から 和田 裕一 准教授
(人間社会情報科学専攻 人間情報学)

マンガの読者は、画面に文字、画像情報といった多様な情報を統合しながらストーリー(シーンの時空間的な連続性や事象の変化)を理解しています。その際の視線の動きには読み手の性別や性格などが反映されます。今回は、マンガの読み手の視線と視線行動の関連性について、アイトラッキング実験の結果から考察します。

講演6 SF映画「The Matrix」の世界は来るのか

BMの視点から 片山 統裕 准教授
(応用情報科学専攻 応用生命情報学)

私たちのあらゆる感覚・運動・思考は脳細胞によって電気信号に変換され、脳-神経系を駆け巡ります。この性質を利用して脳と機械を直接接続するの、ブレイン・マシン・インターフェース技術です。しかし接続できるのは「現実世界の物理世界」だけではないでしょうか。今回は、SFのような世界が実現しつつある現状を考察します。

パネルディスカッション

「自分らしさとは？」

モデレータ

長野 明子 准教授
(人間社会情報科学専攻 人間情報学)

日常生活の中にある無意識の行動や選択。それは、文化や経験が育んだ唯一無二の存在としての個性のあらわれなのか? それとも、ヒトという生物としての特質のあらわれなのか? 行動の「自分らしさ」について、自分を他の人と区別する視点からだけでなく、他の生物と区別する「他らしさ」という視点からも考えてみます。

Program

2017年2月18日(土)

12:30	開場
13:00	開会の挨拶
13:10~14:25	講演1~3
14:35~15:50	講演4~6
16:00~17:00	パネルディスカッション
17:00	閉会

申込方法

www.is.tohoku.ac.jp/sympo/

ウェブサイトの申し込みフォームに必要事項(氏名、所属、連絡先)を明記のうえ、お申し込みください。

会場の都合上、事前登録をお願いします。当日の参加も可能ですが、席の準備ができない場合はご了承ください。

あなたならどこに座りますか?
特設ウェブサイト
質問・回答受付中!

会場: 東北大学 大学院情報科学研究科 2階 大講義室

市営地下鉄 東西線 青葉山駅 北1出口より徒歩1分

(地下鉄仙台駅より徒歩1分)



東北大学附属図書館×白松がモナカ本舗×漱石羊羹

東北大学附属図書館では、夏目漱石没後 100 年にあたる平成 28 年、及び生誕 150 年にあたる平成 29 年の 2 か年にわたり、漱石をテーマとした特別展示会を実施します。これにあわせて、当館と地元の老舗和菓子店である白松がモナカ本舗とで、「漱石羊羹」の製作・販売を共同企画し、このほど販売を開始しました。

羊羹は、漱石の好んだ紅茶とピーナッツ味の 2 種類で、パッケージは本学が所蔵する『『吾輩は猫である』初版復刻本』と「漱石が土井晩翠に送った絵手紙」をモチーフにしています。

販売価格：1,450 円（税込）

販売期間：平成 30 年 3 月末まで（予定）

販売場所：白松がモナカ本舗（仙台三越、藤崎、仙台駅の各売店、直営店（一番町店・中央店・大学病院前店・晩翠通店・駅前店）など



鳴子温泉×東北大学×カフェ

～「生ゴミ」がお茶に!??～

温泉番付東の横綱、言わずもがなの名湯鳴子温泉に、東北大学の研究技術を活用したおしゃれなカフェがあるのはご存知ですか？

その名も"ene・café METHANE（エネカフェ メタン）”。

旅館や家庭からの生ゴミで生産したメタンガスでお湯を沸かして、お茶やコーヒーを提供しています。お茶代は持参した生ゴミが基本。オススメは温泉熱で乾燥させた「エノキ茶」とのこと。ぜひ一度お訪ねあれ！



【営業時間】 9 時 0 0 分～1 6 時 0 0 分

【場 所】 大崎市鳴子総合支所裏の湯めぐり駐車場内

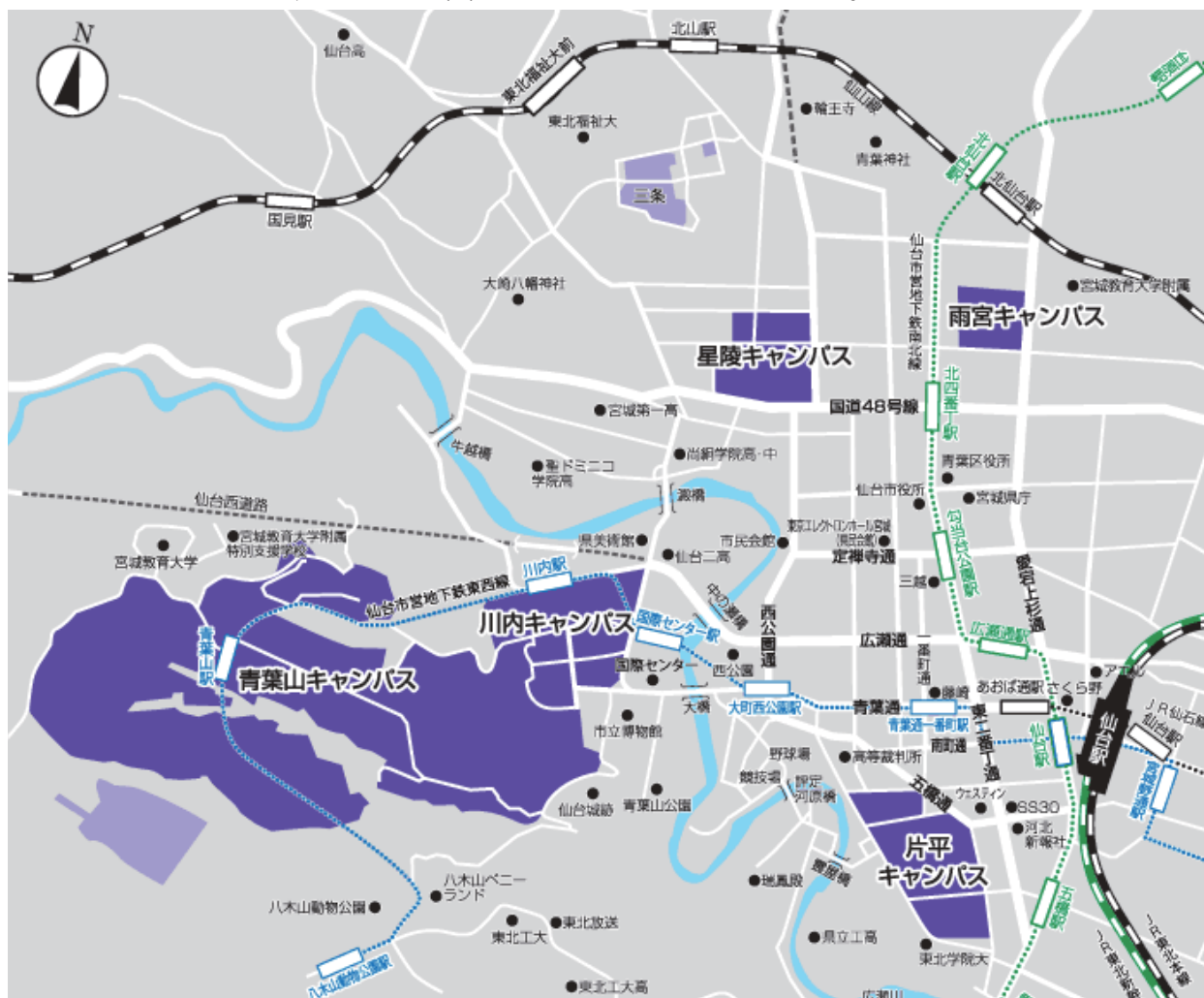
【定 休 日】 金曜日、第 2・4 日曜日、第 1、3 火曜日
但し不定休、不定営業あり

【お問合せ】 TEL0229-84-7395

（東北大学川渡農場内）多田研究室

キャンパスマップ

各キャンパスまでは、下記の地図を参照の上ご来場ください。



■ 片平キャンパス

(バス)

仙台市営バス仙台駅前 11 番乗り場から「(東北大学病院前－八木山動物公園駅)八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前－緑ヶ丘三丁目)緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前－西高校入口)西高校入口行」で約 5 分
東北大学正門前下車

(地下鉄)

五橋駅 (仙台市地下鉄南北線) 北 2 口から徒歩約 10 分
青葉通一番町駅 (仙台市地下鉄東西線) 南 1 口から徒歩約 10 分

■ 川内キャンパス

(地下鉄)

川内駅 (仙台市地下鉄東西線) キャンパス直結
国際センター駅 (仙台市地下鉄東西線) 西 1 口より徒歩約 5 分

■ 青葉山キャンパス

(地下鉄)

青葉山駅 (仙台市地下鉄東西線) キャンパス直結

■ 星陵キャンパス

(バス)

仙台市営バス仙台駅前 9 番乗り場「北山・子平町循環」

10 番、15 番乗り場 東北大学病院経由 東北大学病院前 下車

13 番、14 番のりば 東北大学病院経由か北山トンネル・中山経由か山手町・中山経由 東北大学病院前下車か歯学部・東北会病院前下車

60 番乗り場 交通局東北大学病院前行 交通局東北大学病院前下車 いずれも所要時間 20 分

(地下鉄)

北四番丁駅 (仙台市地下鉄南北線) 北 2 口より徒歩約 15 分

■ 雨宮キャンパス (平成 29 年 4 月青葉山新キャンパスに移転予定)

(バス)

18 番乗り場 120 系統 (仙台駅前－鶴ヶ谷七丁目)・鶴ヶ谷七丁目行

19 番乗り場 110 系統・市営バス東仙台営業所前行か 130 系統・安養寺二丁目行か 135 系統・台原行

いずれも上杉二丁目農学部前 下車

(地下鉄)

北四番丁駅 (仙台市地下鉄南北線) 北 1 口より徒歩約 10 分

